

町民憲章

- 美しい自然に恵まれたまち徳地を守りましょう
- 健康で明るくたくましいまち徳地を育てましょう
- 勤労を^{とと}尊び活気のあるまち徳地を伸ばしましょう
- 伝統と文化のかおるまち徳地を高めましょう
- ^{なご}きまりを守り人の和むまち徳地を築きましょう

No. 362

発行 徳地町

編集 徳地町企画室

印刷 今澄印刷

毎月5日発行



記念造林で植樹をする緑の少年隊員たち

緑ゆたかな山に

～町制施行30周年記念造林～

'85国際森林年と町制施行30周年を記念して、11月20日午前10時半から徳地町大字串字中畑の町有林地で記念造林が行われ、井上町長をはじめ文珠緑の少年隊や林業関係者など約70人が参加して、徳地町で育ったスギの苗木(佐波1号)を1本1本でいねいに植樹しました。(造林面積2ha、この日植樹したのは0.2ha スギ600本です。)

主な内容

- 2 3 4 …町制施行30周年記念式典を盛大に挙行
- 5 …町財政状況の公表
- 6 …成功だった徳地町物産展
- 7 …今心の教育を(学校教育だより)
- 8 9 …フィルムレポート(秋の行事いろいろ)
- 10 11 …婦人団体交流大会(社会教育だより)
ふるさと探訪⑬
- 12 …健康づくりシリーズ(保健婦コーナー)
- 13 14 …お知らせ・文芸など

希望あふれる未来に向かって

町制施行30周年記念式典を盛大に挙行

16個人と6団体に表彰・感謝状

去る十一月十七日午前十時から町民体育館で行われた町制施行三十周年記念式典は、多数の来賓と町内外からの参列者約三百人を迎えて、盛大に挙行されました。

式典は、まず佐波郡連合青年団の藤本保雄さんと高原昌子さんの先唱で、町民憲章の唱和を行い、続いて井上町長が「私たちは今、先人の築いてこられた輝かしい成果をけがすことなく、大きい節目に立って希望あふれる未来に向い、町民一体となって誇りある郷土へと発展させてゆかなければなりません」。今日まで、町勢伸展のためご尽力いただきました諸先輩、町

民の皆さんのご熱意とご協力に深く敬意を表しますと同時に、これを機に更に融和と協調の意義を高め、心のかよう、住みよい、伸びゆく町をつくるために一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と式辞を述べたあと、津田町議会議長のあいさつ、功労者表彰、来賓祝辞、記念品贈呈、記念作文の発表(中央小五年亀田智広君、柚野中三年齊藤恵理子さん)などが行われました。

なお、功労者表彰、感謝状を受彰されたかたがたは次のとおりです。おめでとうございます。

表彰

☆自治功労

- 伊藤歳章氏 七十一歳
大字柚木二五〇
- 戸田岸光三郎氏 六〇歳
大字野谷四八九
- (功績) 両氏とも多年納税貯蓄組合長として町政の進展に尽くされたもの。
- 田中 保氏 六二歳
大字八坂九八一
- 山本 武氏 五七歳
大字堀二四八一

☆社会事業功労

- 石野四郎氏 七四歳
大字伊賀地四二八
- (功績) 多年徳地町身体障害者更生会の指導者として地域住民の福祉向上に尽くされたもの。
- 藤井光子氏 八一歳
大字串六三六の一
- (功績) 多年徳地地区更生保護婦人会長として地域の犯罪予防と更生保護に尽くされたもの。
- 松本芳雄氏 六六歳

☆社会教育功労

- 大宇岸見五五八
(功績) 多年子供会育成会長、民生児童委員として青少年健全育成、地域住民の福祉向上に尽くされたもの。
- 原田マツエ氏 七〇歳
大字三谷二二八八
- (功績) 多年佐波郡連合婦人会長として地域婦人活動の推進と地位向上に尽くされたもの。
- 福田敏一氏 六五歳
大字島地二九〇
- (功績) 多年町社会教育委員として社会教育ならびに青少年の健全育成に尽くされたもの。



式典に参列されたみなさん(最前列は被表彰者)

☆産業功労

- 有近照隆氏 五九歳
大字八坂九七一
- (功績) 多年徳地町農業協同組合長として農業基盤の確立と農業振興に尽くされたもの。
- 和泉豊次氏 七二歳
大字島地一〇四
- (功績) 多年徳地町商工会長として商工業の発展に尽くされたもの。
- 小畑吾作氏 六五歳
大字柚木三二二五の一
- (功績) 多年町農業委員会会長として農業行政の推進に尽くされたもの。
- 田中武見氏 六三歳
大字三谷二三五六
- (功績) 多年林業経営者として後継者の育成指導ならびに地域林業の振興に尽くされたもの。
- 原田 薫氏 五六歳
大字堀二八二二
- (功績) 多年徳地町森林組合長として林業の振興に努め地域林業の発展に尽くされたもの。
- 徳地町栄養改善推進協議会
(功績) 関係機関ならびに諸団体と連携を保ち積極的に食生活の改善に取り組み健康づくりに多大の成果を収められたもの。



約160人が参加して行われた社会福祉推進大会

第11回 徳地町社会福祉推進大会

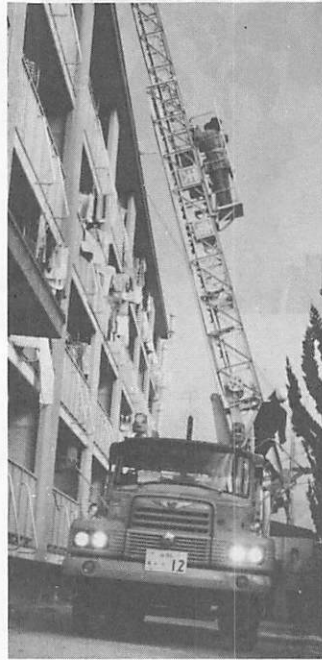
11月25日山村開発センターで第11回徳地町社会福祉推進大会が開催され、町内の社会福祉関係団体から約160人が参加して体験発表や講演などが行われました。また、大会では、社会福祉に貢献されたかたがたの表彰も同時に行われました。表彰を受けられたかたは次のとおりです。

町社会福祉協議会長表彰（敬称略） 林敦子、河村績、河野包夫、賀川久、河野倫治、宇佐見正昭、小畑吾作、伊藤歳章、北村建材、島地小学校、堀地蔵尊講、北野天神裸坊

山口県社会福祉協議会長表彰（敬称略） 松田美枝、中澤龍之、柏村共通、

山口県共同募金会長表彰（敬称略） 徳地縫製工業株式会社

全国社会福祉協議会長表彰（敬称略） 松本芳雄



高層アパートはハシゴ車で救出

こんな大火災が本当にあったら大変！

11月26日堀地区で山口県大火防ぎょ演習が山口県、県消防協会、徳地町の共催で行われました。当日は、町消防団のほか近隣市町村から応援に駆けつけた消防車、救急車のほかヘリコプター、救助工作車、シュノーケル車など大型車が演習に加わり、また地元のみなさんもきびきびした消火活動で演習に参加し、「防火意識を高め、町ぐるみの消火体制を築く」という所期の目的は十分にはたされたようです。



山村広場完工式

屋外スポーツに朗報 山村広場が完成

日ごろ農林業に従事する人たちのスポーツと憩いの場として、今年の7月から徳地町大字堀字二の宮（荷卸）附近に建設が進められていた山村広場がこのほど完成し、11月24日完成式が行われました。なお、(株)井原組（井原利章社長）からサッカーゴール2組の寄贈がありました。ありがとうございました。

山村広場の概要 総面積21,375㎡（うち運動広場10,471㎡）
建設費総額80,100千円

第2回 自治会連合会球技大会

11月24日、山村広場の完成にあわせて第2回自治会連合会球技大会が山村広場を主会場として開催され、ソフトボール、バレーボール、ゲートボールの3種目に、各地区からの選抜チームが熱戦を展開しました。結果は次のとおりです。

- ソフトボール（山村広場）①上河内 ②北野 ③上串
- ゲートボール（山村広場）①島地B ②堀庄 ③八坂
- バレーボール（町民体育館）①船路 ②蔵場 ③柚木

町長の始球式で熱戦開始



農林業まつり

農林産物品評会の結果

（11月17日山村開発センター・最優秀・優秀・二等賞のみ敬称略）

- 最優秀賞** つくねいも・河野重政、乾しいたけ・藤井正人、加工食品（栗の渋皮漬）・池田康子
- 優秀賞** つくねいも・川口周次、わさび・弘中忠義、白菜・松尾線次、大根・小林日出夫、白大豆・村田幸子、栗・福田忠義、同・家本正一、卵・藤永太久治、生しいたけ・原茂、乾しいたけ・山内富次、加工食品（山菜粕漬）・柚木加工グループ
- 一等賞** つくねいも・福田静子、里いも・坂本新二、かぶ・永松和恵、わさび・田中茂隆、大根・牧野一二、ゆず・小林日出夫、栗・山本博、卵・田中正弘、生しいたけ・山内富次、乾しいたけ・植木伸汎、加工食品（奈良漬）・山下久子、同（ふきの佃煮）・村田ヨシ子、白菜・福田理之、ほうれん草・小林日出夫

農林産物の即売



社会教育だより

婦人団体交流発表大会

村おこし事業を考える

第十六回婦人団体交流発表大会が、十一月八日、徳地町山村開発センターで二百三十人が参加して、盛会に開催されました。これまで、婦人団体実績発表大会を十五回も重ねてきましたが、今回から婦人団体交流発表大会と改称され、町内の婦人団体が一体となって町づくりに協力することになりました。

みて、八坂婦人会原芽生さんの「地域福祉推進と婦人会の取り組みについて」、農協婦人部吉松トミ子さんの「農協婦人部活動のひとこま」、栄養推進、岸田百合子さんの「わたしたちの活動について」、生活改善グループ澄田茂子さんの「上村生活改善グループの活動について」更生保護婦人会大村ミツ子さんの「更生の前途に光を」と題して六人の意見発表がありました。全体会では「村おこし事業」をテーマにして鳥取県日南町商工会経営指導者坂辺国夫先生の講演を聴き、その後全員で話し合いました。

午後はアトラクション・友愛セールも行われました。

同和教育指導者

養成講座

50人が参加

昭和六十年同和教育指導者養成講座が三回講座で開催され、



同和教育指導者養成講座

五十人が参加しました。第一回は十月二十二日に防府教育事務所社会教育主事村橋克雄先生の講義と映画で、同和問題の本質と今後の課題について学習しました。

第二回は十月三十一日、串小学校教育頭河本芳久先生を講師に同和問題の歴史的背景について講義を受け、江戸時代のつくられた部落差別について学習しました。

第三回は十一月十一日防府市の門田美和子先生の講話と映画を通して、同和問題の解決をめざして、わたしたちの考え方、生き方について理解を深めました。

今後、同和問題の解決をめざして正しい理解の輪を人から人へと広げましょう。

徳地町文化展 三代交流芸能 大会も盛会

町制施行三十周年記念文化展が十一月十五日〜十七日まで、町民体育館で開催されました。本年は書道・絵画・工芸・陶芸・写真・俳句・短歌・生花等の作品三〇六点が出品されました。

本会に一九八四年小林和作賞を受賞された船路在任の吉村芳生さんの特別出品もありました。また、同体育館では十四時から、三代交流芸能大会が行われ

れ、謡曲・人形浄瑠璃・舞踊・民謡・箏曲・詩吟・袖野小唄等が発表されました。文化展入賞者は次のかたがたです。(敬称略)

書道の部

町長賞 津室 愛子
議長賞 永田 明子
教育長賞 福田 良子
文化協会長賞 野村 洋子

写真の部

文化協会長賞 河村マシノ

絵画の部

町長賞 小松 正
議長賞 井上 清
教育長賞 滝川 宣
文化協会長賞 河野恵美子

工芸の部

町長賞 有井 良一
議長賞 林 達雄
教育長賞 児山 民枝
文化協会長賞 伊藤 文子
原田英美子

短歌の部

町長賞 赤木 大
議長賞 林 タキ子
教育長賞 重田 文子
文化協会長賞 藤田 高枝

俳句の部

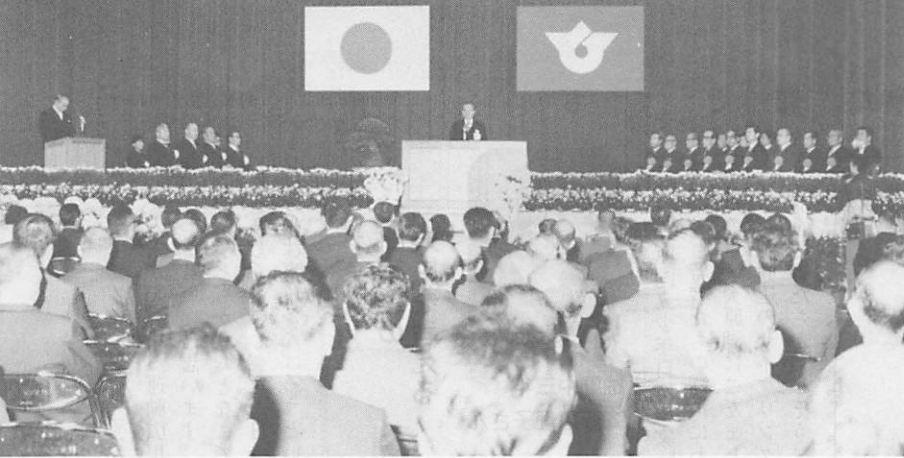
町長賞 田中 案山
議長賞 松原 その
教育長賞 山本志母枝
文化協会長賞 赤木 大



力作が展示された文化展



大会に参加したみなさん



盛大に挙行された30周年記念式典

船路産業振興会

(功績) 多年しいたけ生産に積極的に取り組み技術研修、販売、共同化を進め地域林業に優れた成果をあげられたもの。

佐波郡連合婦人会

(功績) 昭和三十年連合婦人会結成以来、ふるさとづくり、村おこしの原動力として重要な地位をしめ婦人会活動に数多く成果をあげられたもの。

感謝状

山本一美氏

七一歳

大字岸見六三八

(功績) 多年徳地町少年武道練成会の指導者として青少年の健全育成に尽くされたもの。
原田春雄氏 七三歳
大字堀一六七五
(功績) 多年衛生思想の普及と環境美化に取り組み住民の

健康づくりに尽くされたもの。

岸見石風呂保存会

(功績) 多年国指定重要民俗文化財岸見石風呂の保存管理に献身的に尽くされたもの。
月輪寺薬師堂保存会

(功績) 多年国指定重要文化財月輪寺薬師堂の保存管理に献身的に尽くされたもの。
徳地ライオンズクラブ

(功績) 多年地域住民の奉仕者として常に積極的に奉仕活動に尽くされたもの。

ぼくのわたしの考えた

徳地町の未来

町制施行30周年記念作文から

人を大切にする町に



中央小五年 廣田 君 智 亀 田

今年、「町制三十周年」の年です。

徳地町は、人口一万一千人ほどの町ですが、緑に恵まれた美しい町だと思います。僕は、こ

の町が大好きです。だから、どんな発展して欲しいと思います。

しかし、この徳地町が、どんなに産業的に発展しても、そこに住んでいる僕たち人間が、大切にされていなくてはいけないと思います。とくに、今の徳地町があるのは、今まで、おじいさんおばあさんたちが、力を合わせてがんばってこられたおかげだと思っています。この町をつくり、育て、守ってこられたおとしよりの責任でもあると思います。

そのために、僕はこの町を、もっともつと福祉の進んだ町にしたいと思っています。

二十一世紀は、父や母にかわってこの徳地町を動かすのは、僕たちです。としよりになった父や母たちに、喜んでもらえるようにがんばらなければなりません。そして、おとしよりが、楽しく、安心して過ごされるような施設をつくりたいと思います。まず、「いいこの場」をつくりたいのです。そこでは、おとしよりが病気になっても、家族のいる徳地町で安心して治療ができるのです。また、おとしよりのどしうが、お互いに話し合い、楽しみ合うレクリエーションの場でもあり、若い人たちがいっしょに楽しむ場もあるようにしたいです。

しかし、健康なおとしよりにとっては、やはり仕事が生きていだと思います。そのためには、今までのように来られた仕事を生かせるような場が必要です。たとえば、和紙、しいたけ、わざび作りなどです。特にわざび作りは、きれいな徳地の自然があつているので、加工する工場もつくって働いてもらおうのです。また、あゆなどの川魚が、たくさんとれるように研究する所を作って、今までの経験を生かして働いてもらおうのです。そして、おとしよりに、その中から自分に合う仕事を選んでもらえばいいと思います。そうすれば、おとしよりにとっては、生きがいになり、徳地町にとっては、伝統が守られることになっていいと思います。和紙やわざび作りも大きばにやれば、若い人の中にも、この仕事をやりたいという人が出て来ると思います。そうすれば、おとしよりと、若い人とのつき合いも生まれて来て、生き生きとした町づくりになります。

また、町民のつどいや町民運動会のように、家族みんなが楽しめる行事を、もっともつとふやしたいと思っています。そのためにも、徳地町から外に出なくてもいいような、緑をいっぱいとり入れた大公園がほしいです。そこに

は、子どもが喜ぶアスレチック、おとなの人が楽しめる運動広場をつくつたらいいと思います。そこで、子どもからおとなまで一日を楽しくすごし、次の日から自分の仕事にがんばろうとい



袖野中三年 斉藤恵理子さん

わが町徳地の未来を考える

「長者ヶ原国立少年自然の家」は、今日も若者たちの歓声にわき、その声は大原湖にこだましている。湖周辺のサイクリングロードを若者たちが楽しそうに

う気持ちになつたら、どんなにすばらしいでしょう。僕はこんな願いが実現できるような人になるためがんばります。そして、みんなと力を合わせて、ぜひやりたいと思います。

ベダルを踏む姿。少年たちのこぐカッターボートも湖面を横切つて進んでいく。カッコーの鳴き声に、思わず耳を傾けている。今一番近い徳地の未来図の一部は、こんなふうであろうと私は思われます。

豊かな水と、清らかな空気、広い土地を利用した電子工業の会社や、自動車の関連工場も建っている。そして、この工場で働こうと、都会から多くの若者のUターン現象がおこる。徳地は、若者で活気づき、過疎化に

歯止めのかかった町となつて、人口も増加してきている。農業経営もほとんど機械化され、若者中心の農業になつてい

る。食糧生産の重要性が再認識され、近代化された農業は、若者に魅力あるものとなり、若者の手によつて徳地は、にぎわいを示し、明るい農村風景を見せる。これが、私の心に描く十年後の徳地の姿なのです。

しかし、近代化されることで、自然破壊がおこつてはなりません。開発と自然保護は、常に均衡のとれたものでなければならぬのです。もし、均衡が破られ、目先の利益しか考えずに開発をおこなつてしまつたならば、徳地の町は、徳地の町でなくなつてしまふでしょう。山が削られ、緑がなくなり、鳥が鳴かなくなり、耳に入ってくる音といつたら、車の行きかうやかましい音だけ。こんな町が徳地であつたら困ります。未来の徳地は、山や緑がいっぱいあつて、そんな自然の中に、近代化された工場や、建物が建ち並んでいるのです。それが、本当に自然な姿の徳地の未来なのです。

おめでとう

県選奨

◆県選奨(産業功労)



田中武見氏
六三歳
大字三谷三三五六
県林業士会会長

昭和六十年山口県選奨が十一月十四日に決まり、徳地町から産業功労者として田中武見さんが受賞されました。

これら、若者たちの手で築きあげていかなければならない町です。決して一人の力で築いていくことはできません。なぜなら、人間一人の力は弱い。精神力も弱い。自然の力にかなう

わけがありません。でも、一人一人の力は弱くても、みんなの力が一体となると、何にも劣るものはありません。すべての若者の力と、気持ちが一体となつたときに、開発と自然保護の均衡のとれた、活気あふれる徳地となるであります。

しかし、ここで忘れてならないのは、長い間、徳地の発展のために貢献してこられた、祖先や、年長者の方々への感謝の気持ちです。この徳地が、こんなに立派に発展した裏には、やはり、多くの人々の協力・苦勞がおしみなく費やされてきたからに違いありません。だからこそ、今、町制三十周年という、記念

歳末たすけあい運動にご協力を

「わかちあう幸せ」をスローガンに、十月から行われている赤い羽根共同募金。そのしめくくりとして十二月に行われるのが、歳末たすけあい運動です。



集まった寄付金は、ひとり暮らしの老人や寝たきり老人、手足の不自由な人などへの福祉のために活用されます。一人でも多くの方が明るいお正月を迎えられるよう、あなたの「幸せ」をわけてあげてはいかがですか。



町財政状況の公表

町財政状況の公表は、町民のみなさんに町財政の実態をご理解いただくため、毎年5月、11月の2回行っています。今回は、昭和60年度上半期（昭和60年4月1日～9月30日）の予算執行状況、その他参考事項をお知らせし、町政に対するご理解と、今後より一層のご協力をお願いするものです。

昭和60年度一般会計予算執行状況（昭和60年9月30日現在）

歳入 (単位：千円)

科 目	現計予算額	執行額	執行率%
町 税	450,427	273,785	60.8
地 方 譲 与 税	51,500	6,728	13.1
自動車取得税交付金	45,500	17,615	38.7
地 方 交 付 税	1,427,919	985,328	69.0
交通安全対策特別交付金	800	0	0.0
分担金及負担金	66,579	19,654	29.5
使用料及手数料	21,801	8,924	40.9
国庫支出金	335,104	15,391	4.6
県 支 出 金	311,728	25,500	8.2
財 産 収 入	24,829	1,808	7.3
寄 附 金	2	0	0.0
繰 入 金	21,169	0	0.0
繰 越 金	113,000	108,244	95.8
諸 収 入	265,742	69,392	26.1
町 債	493,500	0	0.0
合 計	3,629,600	1,532,369	42.2
繰越明許費	14,864	14,656	98.6

歳出 (単位：千円)

科 目	現計予算額	執行額	執行率%
議 会 費	64,143	31,264	48.7
総 務 費	449,672	184,730	41.1
民 生 費	510,289	142,512	27.9
衛 生 費	109,924	42,171	38.4
農林水産業費	563,559	173,789	30.8
商 工 費	20,347	7,269	35.7
土 木 費	500,547	111,509	22.3
消 防 費	46,018	12,516	27.2
教 育 費	635,623	142,791	22.5
災害復旧費	133,628	4,050	3.0
公 債 費	525,233	255,422	48.6
諸 支 出 金	39,003	38,929	99.8
予 備 費	31,614	0	0.0
合 計	3,629,600	1,146,952	31.6
繰越明許費	14,864	14,475	97.4

昭和60年度各特別会計予算執行状況（昭和60年9月30日現在）

会 計 名	歳入歳出 現計予算額	歳 入		歳 出	
		執行額	執行率%	執行額	執行率%
国民健康保険特別会計	559,241	181,589	32.5	212,934	38.1
老人保健特別会計	739,859	274,087	37.0	293,574	39.7
住宅資金貸付事業特別会計	14,832	1,326	8.9	7,330	49.4
福祉援護資金貸付事業特別会計	1,857	101	5.4	221	11.9
交通災害共済事業特別会計	6,005	5,908	98.4	3,214	53.5
合 計	1,321,794	463,011	35.0	517,273	39.1

町債の状況（昭和60年9月30日現在）

(単位：千円)

区 分	現在高	区 分	現在高
一 般 公 共 債	25,967	厚 生 福 祉 債	31,109
一 般 単 独 債	175,141	都 道 府 県 貸 付 金	10,810
義 務 教 育 債	244,654	災 害 復 旧 債	179,816
辺 地 対 策 債	344,159	一 般 廃 棄 物 債	20,518
過 疎 対 策 債	1,372,201	財 政 対 策 債	5,700
地 域 改 善 対 策 債	418,128	減 収 補 て ん 債	6,670
公 有 林 整 備 債	502,017		
公 営 住 宅 債	316,109	合 計	3,652,999

一時借入金の状況 (単位：千円)

昭和60年9月30日 現 在
—



特産品を積んで出発するトラック（出発式で）

成功だった徳地町物産展

去る十一月八日から十三日までの六日間、広島市のさとう百貨店で「徳地町物産展」が開かれました。

この物産展は、今年の二月、町、商工会、農協、森林組合、生産者らが集まって発足した「徳地町特産振興対策委員会」（井原利章会長）が企画したもので、地域産物の販路の拡大と消費者ニーズを調査して、今後は徳地町の名も広く知って

もらおうと開かれたものです。

十一月十七日には、この物産展の成功を願って、山村開発センター前広場に関係者約六十人が出席しての「物産展出発式」が行われ、特産物を積んで続々と出発するトラックを見送りました。

出展された主な品は、しいたけ（生・乾）、しめじ、なめこ、

くり、干あゆ、山菜の漬物、つくねいも、ハチミツ、野菜、ゆず、菓子、みそ、もち、和紙、飯類などです。

物産展は、事前に広島市在住の町出身者にあらかじめ知らせるなどピーアールに努めた結果、連日のにぎわいで、当初の予想を上回る売れ行きとなり、販売にあたった人たち（生産者など延百五十人）は、休む暇もないほどの忙しさでした。

特に、開催期間中の催しとして行われたもちつき、徳地和紙の紙すき実演（山内幸彦さん）、即売されるつきたてのもち、ま

国保だより

国保の保険証を

大切にしていますか

保険証はあなたの健康を守る大切な証書

保険証は加入者の権利を保障し、数十万円、数百万円のサービスを生む大切な証書です。保険証がないと、医療費は全額自分で支払わなければならないとなります。他人に貸したり、借りたり、治療が終了した後病院に預けっぱなしにしたりしてはいけません。また、不正に使用すれば罰せら

れます。

みんなの心のこもった保険証です。大切に取り扱いましょう。

保険証の手続きは

ちゃんとしていますか
保険証をなくされた場合とか、記載事項に変更があった場合にはすぐ届出てください。返還や届出の手続きを怠ると、あなた自身思わぬ損害を受けることとなります。

☆こんなときには必ず届出を☆

国保にはいるとき		国保をやめるとき		その他の異動	
こんなとき	持参するもの	こんなとき	持参するもの	こんなとき	持参するもの
他の市町村から転入したとき	転出証明書	他市町村へ転出するとき	被保険者証	同じ市町村内で住所が変わったとき	被保険者証
職場等の健康保険をやめたとき	職場の健保をやめた証明書	職場の健康保険に加入したとき	国保と社保の保険証 扶養認定の証明	世帯主や氏名が変わったとき	被保険者証
以上のうち、世帯員の一部が増えた場合は、被保険者証も持参する		生活保護法の適用を受けたとき	被保険者証 保護決定通知書	世帯が分かれたりいっしょになったとき	被保険者証
生活保護を受けなくなったとき	被保険者証 保護廃止通知書	死亡したとき	被保険者証 死亡診断書	修学のため子供が他地区へ転出するとき	被保険者証 在学証明書
子供が生まれたとき	被保険者証 母子健康手帳			高額療養費の支給を受けるとき	領収証

・印鑑は必ず持参してください・

つたけ飯、くり飯は好評で広島市民の人気を集め、押すな押すの盛況ぶりでした。
六日間の売り上げは、概算六百万円ということで、初めての企画としては大成功というところ。近くさとう百貨店から

正式な報告があり次第、関係者が集まって反省会を開き、来年もこうした催しを開く方向で計画を進め、場合によっては農協、普及所などと協力して生産を拡大することも検討していくとい

学校教育行事あれこれ



7人で頑張った柚野小学校(小学校音楽祭)(11/2)



幼児も興味を示した作品群(町学校文化展)(11/2~4)



美術の授業で老人へ贈るカレンダー作りをする堀中学校(福祉教育研究発表会)(11/8)

学校教育だより 今心の教育を

福祉教育研究発表会を終えて

公開授業、生徒会活動の発表、アトラクション等、生き生きと活動した生徒たちの様子は参加者を深く感動させたようで数多くの賞賛の言葉をいただきました。

中学校教育が「人間性豊かな生徒の育成」を目標としながら現実には、それに迫まるきめ手がないまま多くの問題をかかえる中で、福祉教育は、今まで知育が先行していた中学校教育に「心の教育」の見直しを迫まるものでした。

堀中学校は、福祉教育推進の二か年の県指定を受け、去る十一月八日、研究発表会を盛会のうちに終えることができました。

二十一世紀に向けて目指す社会は、人間尊重を基盤として、みんなが幸せになる社会であり、みんなが共に生きる社会です。このような福祉社会に生きる

生徒会を中心とした校内・校外行事を自分たちの手で新しく

心に掛けてきました。

堀中では、ここ二か年、学校教育のあらゆる活動の場をおして「福祉の心」を育てること

に心掛けてきました。

「相互に認め合い、役割の自覚や責任感、思いやりの心、助け合い励まし合う心をもつ社会連帯の精神」を必要とします。福祉教育は、その自立の精神と社会連帯の精神からなる「福祉の心」を育てることを目標としています。

また、集団の中にあつては、「相互に認め合い、役割の自覚や責任感、思いやりの心、助け合い励まし合う心をもつ社会連帯の精神」を必要とします。福祉教育は、その自立の精神と社会連帯の精神からなる「福祉の心」を育てることを目標としています。

人間として子供が成長するには、まず、「自分自身、生きる目標をはっきり持ち、力強く生きる自立の姿勢」が必要です。また、集団の中にあつては、「相互に認め合い、役割の自覚や責任感、思いやりの心、助け合い励まし合う心をもつ社会連帯の精神」を必要とします。福祉教育は、その自立の精神と社会連帯の精神からなる「福祉の心」を育てることを目標としています。

「福祉の心」は、彼等が責任ある大人となったとき、彼等の心の中に生きて働き「みんなが幸せになる社会」の原動力となるに違いない確信を得ました。(堀中学校)

こうして、子供の心に根づいた「福祉の心」は、彼等が責任ある大人となったとき、彼等の心の中に生きて働き「みんなが幸せになる社会」の原動力となるに違いない確信を得ました。

「相互に認め合い、役割の自覚や責任感、思いやりの心、助け合い励まし合う心をもつ社会連帯の精神」を必要とします。福祉教育は、その自立の精神と社会連帯の精神からなる「福祉の心」を育てることを目標としています。

「相互に認め合い、役割の自覚や責任感、思いやりの心、助け合い励まし合う心をもつ社会連帯の精神」を必要とします。福祉教育は、その自立の精神と社会連帯の精神からなる「福祉の心」を育てることを目標としています。

おめでとう

・同和対策推進ポスター
コンクール

(佳作)

・渡辺 紀恵(島地中)
(主催)山口県教育委員会

・優良こども郵便局表彰
(郵政省貯金局長賞)

・柚木こども郵便局
(主催)山口県郵便局

・八坂小学校こども郵便局
(主催)郵政省)

・県よい歯の学校表彰
(県歯科医師会長賞)

・島地中学校

・夏休み小学生読書感想文
コンクール

(優秀賞)

・近藤三千代(串小)
(主催)山口新聞社)

おわび

十一月号で、お知らせいたしました「郡中学校新人球技・剣道大会の結果」に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。

剣道(女子)の部

第一位 柚野中学校

フィルムレポート

秋の行事いろいろ

11月は、行楽の季節です。町内でも町民のつどいをはじめ、多くの行事が開かれました。

町民のつどい

11月17日山村開発センター前広場で開かれた町民のつどいのスナップです。



町民のつどいはパレードから始まります



恒例となった有倫館園児のバトン演技



騒の中に静あり



フィナーレを飾るもちまき



美しいハーモニーで合唱する堀中合唱部のみなさん



—徳地町民歌発表会—
ふるさとと緑の山に
つまれて

作詞 岡田先生 作曲 鈴木先生

11月17日町民体育館で行われた町制施行30周年記念式典に続いて開催された徳地町民歌発表会は、作詞の岡田岩吉先生、作曲の鈴木淳先生を招いて華やかに歌い初めが行われました。佐波高等学校吹奏楽部の伴奏に乗って、堀中学校合唱部のみなさんが美しいハーモニーですばらしい徳地町民歌を披露してくれました。



伴奏は佐波高吹奏楽部

ザ・チャレンジ

長靴なげ大会

町民のつどいに中央小学校グラウンドで行われた長靴なげ大会は、めずらしい競技とあって大好評でした。(主催 徳地町体育協会)

■長靴なげの結果(敬称略)

- 小学生 ①重富忍(島地) 30 m 13 cm ②原智明(堀) ③岡田克之(堀)
- 中学生 ①神蘭謙治(串) 35 m 55 cm ②宇佐川泰弘(島地)
- ③原真也(八坂)
- 一般女性 ①戸岸岸淑子(柚野) 22 m 98 cm ②齊藤益子(柚野) ③佐古田寿美香(柚野)
- 高校一般 ①神田敦彦(柚野) 43 m 38 cm ②藤本明夫(八坂) ③渡辺浩信(八坂)



グチャグチャして思うように飛びません

スポーツ情報

第31回

徳地町駅伝大会

第三十一回徳地町駅伝大会(徳地町、徳地町教育委員会主催)が、十一月十日(日)役場前出発一八坂中学校で折り返し、さらに役場から島地中学校で折り返しの七区間二六、八八キロメートルコース(女子は四区間一四、一八キロメートルコース)で行われました。



ゴールイン

本年は中学校男子八チーム、中学女子十一チーム、高校一チーム、一般六チームが参加し昨年より四チームふえて二十六チームで、健脚を競いました。その結果、優勝は中学男子の部で八坂中A、中学女子の部堀中B、一般の部島地青年団で、一般の部郵便局チームの山本英也さん(四三歳)も二区間で若者といっしょになって健闘されました。

総合順位

○中学男子の部

- 1位 八坂中A・1時間30分49秒
- 2位 堀中A・1時間31分9秒
- 3位 島地中A・1時間32分56秒

○中学女子の部

- 1位 堀中B・55分58秒
- 2位 八坂中B・56分4秒
- 3位 八坂中A・56分26秒

○一般の部

- 1位 島地青年団・1時間47分42秒
- 2位 袖野愛郷会A・1時間48分41秒
- 3位 4Hクラブ・1時間58分0秒

■区間賞(※は区間新・敬称略)

○中学男子の部

- 1区三宅節男(島地)・2区※河村圭幹(八坂)・3区清水泉(堀)・4区※伊藤啓二(堀)・5区※伊藤正吾(八坂)・同2位※重本浩明(堀)・6区※牛見喜道(島地)・7区松岡貴章(堀)・同山本弘樹(島地)

○中学女子の部

- 1区永松みどり(八坂)・2区※河村美沙子(串)・3区※青木優子(堀)・4区山村智子(堀)

○一般の部

- 1区藤本保雄・2区友田義明

- ・3区野村勝晴・4区中谷浩明・5区井上透・6区宮正一人・7区叶原茂樹

■敢闘賞(※は区間新・敬称略)

- 1区渡辺幸成・3区※中村和広・6区藤本将之(以上佐波高)

ロードレース

記録(追加)

先月号にロードレースの記録掲載もれがありましたので追加します。

○四十歳以上の部

- ①山本英也
- 女子の部
- ①藤井美保子

昭和61年

成人式御案内

- ・期日 昭和六十一年一月十五日
- ・会場 徳地町山村開発センター
- ・内容 式典および記念講演ほか
講師山口女子大学教授 福田百合子先生
- ・該当者 昭和四十一年四月二日～昭和四十二年四月一日生れの徳地町住民および徳地町出身者

ふるさと探訪

18

無形文化財 徳地人形浄瑠璃

徳地町大字堀字旭
昭和46年10月19日県指定



徳地は、むかしから浄瑠璃の盛んなところで、徳地人形浄瑠璃は、最初は糸遣いや、門付などの一人遣いをまねたり、張子の人形を作ったりして浄瑠璃にあわせて人形芝居を上演していたが、明治に入り大阪出身の浄瑠璃の大夫が定住して一層浄瑠璃が盛んになると同時に、器用な人たちが各所で盛んに人形を改良進歩させたので、特色のある人形芝居が生まれ、農村芸能として育ったのである。現在、徳地人形浄瑠璃芝居に使われる50体余りの人形は、全身長90cm余りある一人遣いの串人形であり、男女とも、子供・青年・成人・老人とあって、善人・悪人に分れ、いずれも浄瑠璃の非劇的構成からくる憂いの表現は共通したものである。

舞台は、幅190cm、奥行140cm、高さ180cm余りで、組立式になっていて、人形といっしょに、二つの箱(縦80cm、横98cm、高さ39cm)に収めることができ、手軽にどこにでも運搬することができる。

(昭和44年3月21日、徳地人形浄瑠璃保存会設立される。)

保健婦コーナー 健康づくりシリーズ ①

健康の基本

昔は、健康は「天から与えられるもの」または「人間の力で左右できないもの」と信じられていました。

しかし、これは科学の未発達時代の話。自分の健康は、自らの知恵と努力で、自らつくり上げるのが現代です。

徳地町でも、検診や健康相談などを実施していますが、なんといっても、自分の健康づくりの主役は「あなた」なのです。これから寒さがきびしくなりま

すが、健康の基本についても一度考えてみましょう。

健康をつくる三つの柱

- 栄養・運動・休養 —
1. 栄養のバランスのとれた食生活…病気に負けない丈夫なからだをつくる源です。
 2. 適度の運動をする…体は鍛えられ活力のある状態を維持

献血功労者の表彰

献血の協力者に対して、このほど日本赤十字社から表彰があり、徳地町から次のかたがたが受章されました。

■銀色有功章(献血三十〜五十回)

- 牛見照子さん(大久保)
- 藤井利正さん(西村)
- 浴口 悟さん(猿岡)



左から牛見さん・藤井さん・浴口さん

します。冬場は家にこもりがちです。つとめて体を動かすことを考えよう。

3. 十分の睡眠と休養…毎日の疲労を回復し、明日への活力を増します。

病気は、日常生活の不健康に基づくとところからおこります。成人病といわれる高血圧、脳卒中、心臓病、糖尿病、ガンなどでは、いわば毎日の不摂生の積み重ねの結果と老化とのかわりが大半といつてもいいでしょう。健やかな毎日を過ごすために、一日一日を健康づくりと結びつけた生活を送りましょう。

国民年金いろいろ

保険料納付済期間とは

●保険料納付済期間

保険料納付済期間とは、いままで保険料を納めた期間に、次の期間を合算した期間をいいます。

- ①第一号被保険者として保険料を納付した期間
- ②第二号被保険者期間
- ③第三号被保険者期間

※改正前の国民年金法による保険料納付済期間および厚生年金保険の被保険者期間のうち昭和三十六年四月から改正法の施

バランスのとれた食生活を送ろう



1日2〜300カロリーを運動で消費しよう



充分の睡眠とリラックスした生活を心がけよう



行日の前日までの期間(ただし二十歳前の期間および六十歳以後の期間を除きます。)については、原則として、保険料納付済期間とみなされます。

献血にご協力ください

とき 12月21日(土)
 ところ 徳地町役場前 午前9時〜午前11時30分
 佐波高校(高校生のみ)午後1時〜
 ※献血手帳をお持ちのかたはご持参ください。

健康づくり(20号)クイズの当選者

ご応募ありがとうございました。18人の応募があり、正解者は15人でした。抽選の結果、次の3人の方が当選されました。

- 安田正時さん(上野谷) 福田テル代さん(上村)
- 中本芳子さん(二の宮)

※クイズの答 1…× 2…× 3…○ 4…○
 5…×

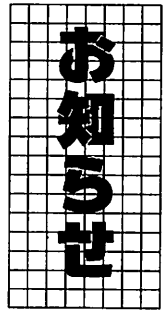
国勢調査の結果

町の人口10,571人に

みなさんにご協力いただきました国勢調査も滞りなく終了し、このほど人口の概数が別表のとおりまとまりましたので公表します。なお、この数字は後日総務庁統計局で公表する結果とは異なる場合があります。

昭和60年国勢調査人口(概数)

区分	世帯数	人口			
		総数	増減率	男	女
出雲	1,135	3,936	△ 1.3	1,890	2,046
八坂	821	2,834	△ 6.2	1,344	1,490
柚野	293	808	△13.0	388	420
島地	688	2,267	△ 5.0	1,081	1,186
串	241	726	△10.5	355	371
合計	3,178	10,571	△ 5.1	5,058	5,513
55年国調	3,270	11,137		5,352	5,785



佐波川堤防の一般

車両の通行は

一、遠慮ください

建設省山口工事事務所

佐波川では、現在堤防の大部分が解放されていますが、場所によっては近年一般車両の交通量が増加しており、河川環境の悪化や交通事故等の問題が生じ

ています。

このため、佐波川の環境保全と堤防の保全をはかるうえで、堤防天端(道路として認定された区間を除く)について、一般車両の通り抜け禁止等の対策を講じますので、ご理解とご協力をお願いします。

停電情報を電話で

お知らせ

中国電力では、停電に対する問い合わせに対応するため、このたび停電の問い合わせ専用電

話を設置しました。ご利用ください。

■停電の問い合わせ電話
0835-23-4100

歯科衛生士学生の

募集

■募集人員 五十人

■修業年限 二年

■受験資格 高校卒および卒業見込みの女子

■出願期間 第一次十一月十一日〜翌年一月十八日、第二次

六一年一月二十七日〜二月十五日

■試験日 第一次六一年一月二十五、二十六日、第二次六一年二月二十二、二十三日

■問い合わせ 山口県歯科衛生士学院(山口市吉敷芝添三二三八番山口②1820)か最寄りの歯科医院

農業大学の

学生募集

■受験資格 本科一二十五歳未満の者で高等学校を卒業(見込み)した者、またはこれと同年以上の学力を有すると知事が認められた者。研究科：短大

以上の学校を卒業(見込み)した者、またはこれと同年以上の学力を有すると知事が認められた者。

■願書受付 六一年一月四日〜一月三十一日まで

山の手入れをして 良い木を育てよう

新間伐促進総合対策事業

戦後、荒れた山を復旧しようと、皆さんの熱心な植林によって人工林の面積は、一〇、七八〇ヘクタール(人工林率四七%)となつていますが、そのほとんどが三十年以下の除伐や間伐の必要な山ばかりです。しかしながら、現状は除伐や間伐が実施されていない、山の中が暗く、ヒヨロヒヨロしたモヤシのような木で、雪害や病虫害にかかりやすい生育も悪くなった現地が多く見られます。

■問い合わせ 受験手続きなど詳しいことは、山口県立農業大学校(防府市牟礼三二一八番防府③0510)または農業改良普及所へお尋ねください。

このような山に手を加え健康で良い木を育てるために、町では昭和六十年から昭和六十四年までの間、新間伐促進総合対策事業に取り組むことにしました。

皆さんこの制度を活用し、積極的に間伐を行って、優良木を育てましょう。

補助制度の概要

対象地域	森林整備計画で定めた一体の区域内
樹種林齢	16年生から25年生までのスギ、ヒノキ
補助の対象	森林組合の委託事業(10a以上)
間伐率	15%以上(5本〜6本で1本間伐)
補助率	事業費の約60%



